



① 栗原を代表する栗駒山など、美しい自然が市の魅力をつくる。
② 岩魚や自然薯など栗原の食材を使用した栗駒山麓のめづみ認定商品。栗原の風土と結び付いた食材が使われている。



未来につなげて
先人たちが受け継いだ豊かな自然や文化、そして自然災害の知恵は貴重な栗原の財産です。この財産を未来に残すためには、ここに暮らす私たち一人一人が地域の自然や文化の価値を理解し守りながら、その魅力を外に発信していくことが大切です。

美しい自然や豊かな大地で育まれた食材、多彩な郷土料理に地域の伝統的な祭りなど数々の自然災害を乗り越えて築かれてきた栗原の魅力は、まだまだ他にもあります。しかし、気候変動や少子高齢化などの影響により、先人たちから受け継がれてきた自然や文化、人々の暮らしも少しずつ変化しています。

未来につなげて

栗駒山麓ジオパーク認定10周年記念イベントなど開催

日本ジオパーク認定10周年を記念したイベントや、ジオトレイル開通イベントなどを開催します。ぜひ参加してください。



● 10周年記念ツアー「ボーリングコアを観察 荒砥沢地すべり内部のひみつを探ろう」

- 日時 9月7日(日) 午前9時30分～午後3時30分
- 場所 栗駒山麓ジオパークビジターセンター、荒砥沢地すべり内部

● 栗駒山麓ジオトレイル開通イベント KURIHARA TRAIL DAYS

- 日時 10月13日(月) 午前10時～午後4時
- 場所 栗駒山麓ジオパークビジターセンター

● 栗駒山麓ジオパーク認定10周年記念フォーラム

- 日時 11月29日(土) 午前10時～午後4時
- 場所 若柳総合文化センター(若柳ドリーム・パル)

● 栗駒山麓ジオパーク学習交流会2025

- 日時 12月19日(金) 午前9時30分～正午
- 場所 栗原文化会館

● 共通事項

- 参加費 無料

* イベントの詳細については栗駒山麓ジオパークのFacebookなどを確認するか、問い合わせください。

問 商工観光部ジオパーク推進室
☎(24)8836



▲ジオトレイルルートの1例。秋の世界谷地原生花園へ至る、紅葉のトンネル



故郷は宝の山
私にとってジオパークは故郷への愛を深める活動です。私は以前、故郷に自信が持てませんでした。しかし、ガイド養成講座を受講したことをきっかけに、何気なく過している日常が、誰かに誇れるような自然や文化に囲まれていると知り、故郷を誇りに思えるようになりました。

美しい自然や豊かな大地で育まれた食材、多彩な郷土料理に地域の伝統的な祭りなど数々の自然災害を乗り越えて築かれてきた栗原の魅力は、まだまだ他にもあります。しかし、気候変動や少子高齢化などの影響により、先人たちから受け継がれてきた自然や文化、人々の暮らしも少しずつ変化しています。

栗駒山麓ジオパークは多くの人に支えられ、認定10周年を迎えます。地形や地質などの調査や研究、地元食材を使った商品の開発、ガイドなどその協力は多岐にわたります。地域の魅力を伝えるガイドとして活動している、栗駒山麓ジオパークガイドの会会長の平塚さんに話を伺いました。

紅葉の栗駒山麓周辺を案内するときです。紅葉が有名な山は全国に数多くありますが、中でも栗駒山は常緑樹が少ないため、秋には山全体が赤や黄色などの落葉樹で彩られ、神の絨毯の名にふさわしい景観を見ることが出来ます。日本各地の山を登った人と接する機会がありました。こんなに美しい山は他にない」と感激していました。



栗駒山麓ジオパークガイドの会
会長 平塚 茂樹 さん(金成梨崎下沢辺)



▲採取された岩石を砕いて観察する子どもたち



▲歩いてジオトレイルのルートを調査する様子



▲花山の沢で遊ぶ子どもたち



くりこま高原自然学校
校長 塚原 俊也 さん(栗駒耕英)

栗駒山麓ジオパークでは今年、秋、ジオトレイルを開通します。ジオトレイルについて、ルート設定に携わる、くりこま高原自然学校校長の塚原さんに話を伺いました。

意識し、試行錯誤を重ねています。普段、子どもたちと接している、車での通学やスマートフォンが普及など、生活様式が大きく変わり、自然との触れ合いや地域との交流が減っていると感じます。

栗駒山麓ジオパークでは今年、秋、ジオトレイルを開通します。ジオトレイルについて、ルート設定に携わる、くりこま高原自然学校校長の塚原さんに話を伺いました。

意識し、試行錯誤を重ねています。普段、子どもたちと接している、車での通学やスマートフォンが普及など、生活様式が大きく変わり、自然との触れ合いや地域との交流が減っていると感じます。

体で栗原を感じる

道から関心を育む